

R8年度 海外都市学生交流事業 事前説明会QA

1. 応募・選考に関すること

NO.	質問内容	回答
1-1	ディケイター市の派遣学生は、どのように選考されているのか。	ディケイター市姉妹都市委員会が選考を行っている。なお、日本語が話せることが選考の条件でないため、基本的には日本語が話せない学生と考えていただけたらと思います。
1-2	派遣学生とのマッチングはどのように行われるか。	ディケイター側からの要望や、受入家庭の家族構成などを踏まえて選考・マッチングを行っています。
1-3	受入期間について、3日間など短い期間で受け入れることは可能か。	難しいです。応募条件は、前期あるいは後期、または両方の期間で受入可能な家庭としています。
1-4	7月の受入れ家庭向け事前説明会では、受入時期が前期と後期いずれになるか決定しているか。	決定しています。6月下旬予定の決定通知に記載して送付します。
1-5	前期・後期の日程について	前期を7泊8日、後期を6泊7日としています。来日直後は時差ボケや、環境への適応など、すぐに行動できない学生もいるため、前期の方が期間を長く設定しています。
1-6	応募するホストファミリーが少なかった場合、前半・後半両方とも受入れとなる可能性はあるか。	前回は通しでお願いした家庭はいませんでしたが、過去には、前半・後半の両方をお願いすることもありました。
1-7	申込書に希望日程として前半・後半をチェックすると思うが、機会的に事務処理されるのか。(後半を希望するが前半でも受入れ可能な場合などを想定)	各家庭のご事情を伺うためにも対面での提出をお願いしており、提出時に簡単なヒアリングを予定しています。その際に伝えたい情報があれば、是非伺いたいと考えています。なお、前後期とも受入れ可能であれば両方にチェックを入れていただいた上で、できればどちらを希望したいなどを書き添えていただけると有難いです。
1-8	過去の応募数を教えてほしい。	前回(R6年度)は、応募数を少し上回る程度でした。例年、応募数を大幅に上回ることはない印象です。
1-9	ホストファミリー応募条件の中に「日常会話程度の英語が話せる家族がいる家庭」とあるが、日常会話程度の英語を話せる家族がいない。その場合応募は難しいか。	応募多数の場合は、英語ができる方がいる家庭が優先となると考えられますが、応募は可能です。コミュニケーションを凶ろうとする姿勢が大切だと考えています。
1-10	学生を受け入れることになった場合、学生との会話は全て英語で問題ないか。多少日本語で話しかけた方がよいか。	会話は英語で問題ありません。米国側で日本語の基準を設けていないため、派遣学生はおそらく日本語を話せないと思われます。

2. 受入時の生活に関すること

NO.	質問内容	回答
2-1	共働きで、常に家にいることは難しい。	可能な範囲で、どなたか1人は学生についていていただきたいと考えています。
2-2	他のホストファミリーと合同で、バーベキュー等を計画してもよいか。	双方のホストファミリーの合意があれば、問題ありません。
2-3	他のホストファミリーが受け入れている学生を、自家庭で受け入れている学生と一緒にどこかに連れて行ってよいか。	双方のホストファミリーの合意があれば問題ありませんが、可能であれば1名程度は随行していただきたいと考えます。
2-4	学生がベジタリアンの場合、どのように対応すればよいか。	アレルギー等は事前に学生に確認していますが、詳細については把握できないところもあります。事前に学生と連絡を取る中で調整いただきたいと思います。
2-5	神社や寺に連れていく場合、宗教上すべき配慮はあるか。	自身と同じ対応、作法などを学生に強要はできない旨をご承知おきいただきたいと思います。
2-6	過去のトラブル事例はあるか。	大きなトラブル事例はありませんが、学生の体調が悪くなり病院に連れて行った際、英語が話せる医師を探すのが大変だったということがありました。なお、保険については市側で加入する予定です。
2-7	ホストファミリー側の子どもが体調を崩した場合、どのように対応すればよいか。	感染しやすい病気の場合は、可能な限り接触を避けていただく等の一般的な対応となると思います。市に連絡をいただければ、対応策を一緒に考えることも可能です。
2-8	前回受入れ時の反省点などあれば教えてください。	SNS等で学生同士も比較的自由に気軽にコミュニケーションが取れる環境があり、公式行事とホストファミリーの自由時間など、よりメリハリをつけられると良かったと思っています。また、学生たちは日本の暑さはかなり堪えた様子で、エアコンであったり行程への配慮が必須であると感じました。
2-9	滞在中の移動については、どのように気を付けるべきか。	気温が非常に高い時期のため、徒歩での移動、炎天下での屋外での行動は、派遣学生にとって非常に辛そうであり、行程への配慮が必要になると思われる。また、アメリカは車社会のため、電車等ではなく自家用車での移動を基本に考えている家庭もいたようです。
2-10	これまでどのようなトラブルがあったか。	過去には、派遣学生が夜間に突然体調が悪くなり、病院に連れて行っていただいたことがあったと聞いています。
2-11	受入れ期間が夏休みなので子どもの部活があるが、そこに学生も一緒に行ってもらうことは問題ないか。	部活への参加については学校側の了承があれば問題ないと考えますが、体調ケア等の面からも、大人の方どなたかお一人は、同行していただきたいと考えています。
2-12	派遣学生は保険に加入してくるのか。	保険には加入してくるので、その点をご安心ください。
2-13	受入が決定しているホストファミリーが、体調不良等で急遽受入れが難しくなった事例は過去にあるか。	そのような事例は過去数年ではありませんでした。もしそのような事態になった場合は、調整させていただくことになると思います。
2-14	学生の交通費等の費用について、どこまでホストファミリーが出すべきか決まりはあるか。	米国側から学生には、交通費等は自分で払うよう伝えてあります。事前に学生とメールで連絡を取る際に、費用負担について確認しておくと思われず。
2-15	派遣学生の分の入場料等は、ホストファミリーが負担するのか。	派遣学生は、外食代や入場料等は自分で負担するように説明を受けてきているので、必ずホストファミリーがご負担いただかなければならないものではありません。

2-16	公務員だが、受入れにかかる謝礼を受け取ってよいものか。	問題ありません。受入れに際して発生する食費や光熱費などの実費弁償の意味合いであり収入や報酬には当たりません。
2-17	(前回も受け入れたご家庭の方から) 滞在中、派遣学生同士で予定を組んでしまい、当初考えていた予定が崩れてしまった。どのように対応したらよかったか。	受入にあたって、各家庭で期間中の行程を組み立て準備等されていると思うので、基本的にはその予定を優先していただければと思う。なお、もし予定が変更になった場合は、随時、市へ情報共有していただきたいと考えています。
2-18	(前回も受け入れたご家庭の方へ) ホームステイ受入期間中に気をつけた方がよいことがあれば教えていただきたい。	派遣学生から洗濯物を最終日にまとめて大量にお願いされ困った、ということがありました。次に受け入れるならできるだけこまめに伝えたいと思っています。
2-19	(前回も受け入れたご家庭の方へ) 2回目の受入を考えている理由を伺いたい。	前回受入時に子どもたちにとって非常に楽しい経験ができました。また、将来的に子どもが成長したら、ディケイターへの学生派遣事業に応募してみたいとの思いもあります。また、英語でのコミュニケーションにトライする良い機会だと思っています。

3. 受入期間中に市が実施する事業に関すること

NO.	質問内容	回答
3-1	市長表敬訪問が夕方に予定されているが、それまではホストファミリーとの自由時間という認識でよいか。	ご認識のとおりです。市長表敬訪問までの時間は、ホストファミリーとの自由時間となります。
3-2	歓迎夕食会への参加は必須か。	できるだけ参加していただきたいが、必須ではありません。
3-3	歓迎夕食会は、受入家庭の家族全員が出席しなければならないか。	お店の受入可能人数の関係で、1家庭1~2名を想定しています。
3-4	令和6年度は西武ライオンズの試合観戦がありました。今年度も予定されているか。	今年度も実施するかは検討中です。候補日は、ホームでの試合日程から7/31(金)となります。なお、必ず参加をということではなく任意とし、希望を募ることを考えています。
3-5	日本文化体験の内容について教えてほしい。	R6年度は、所沢北高等学校で書道、弓道、茶道の日本文化体験を実施しました。午前9時30分に集合し、午後2時頃に解散となりました。

4. 連絡・情報共有に関すること

NO.	質問内容	回答
4-1	学生と事前にメールでやりとりする際には、学生の親御さんとも連絡をとるべきか。	基本的には学生と連絡を取っていただきますが、必要に応じて学生の家族とつながることも可能です。
4-2	派遣学生と事前に連絡をとることはできるのか。	マッチング後に各ホストファミリーへ派遣学生の情報提供を行い、派遣学生と連絡を取り合ってください。派遣学生からの希望を事前になるべく具体的に知ること、より具体的な行程の検討もできるようになると思います。
4-3	ホームステイ受入れ期間中に、困りごとが生じた場合、市へ連絡してよいものか。	市へ相談して頂きたいと思います。場合によっては、ディケイター市の担当者とも共有することも可能です。
4-4	マッチング後のホストファミリー説明会が、前半・後半のホストファミリーが会う唯一の機会である。その場で連絡先の交換は行ったが、より具体的に行程について話し合う場として活用できるように、事前に市から各ホストファミリーに伝えてもらうと嬉しい。	マッチング後、説明会前に各ホストファミリーに伝える方向で検討します。